

平成29年度 本校教育推進の基盤

◎「北海道教育ビジョン」

〈基本理念〉 ◇自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の ⇒ **自立**
実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む
◇心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む⇒ **共生**

- 〈基本目標〉 ◇〈基本目標1〉社会で生きる実践的な力の育成
- ・(基本方向1) 生きる知恵につながる確かな学力を育む、自立した生き方を支える教育の推進
 - ・(基本方向2) 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力育む教育
- ◇〈基本目標2〉豊かな心と健やかな体の育成
- ・(基本方向1) 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
 - ・(基本方向2) 心身の健やかな成長を促す教育の推進
- ◇〈基本目標3〉信頼される学校づくりの推進
- ・(基本方向1) 魅力ある学校づくりの推進
 - ・(基本方向2) 教職員に対する信頼性の向上
- ◇〈基本目標4〉北海道らしい生涯学習社会の推進
- ・(基本方向1) 学んだ成果を生かす生涯学習の推進
 - ・(基本方向2) 潤いのある地域づくりをめざした社会教育の推進
 - ・(基本方向3) 文化・芸術活動の推進
 - ・(基本方向4) 健康づくり、スポーツ活動の推進

◎「後志教育推進のために」

「北海道教育ビジョン」と〈基本理念〉・〈基本目標〉等、同じ

◎寿都町教育目標、寿都町教育振興基本計画及び教育行政執行方針

- 〈教育目標〉 ◇北方の自然できたえた、心身ともに健康でたくましい人
◇常に自己を高め、文化を育くむ創造性豊かな人
◇勤労を尊び、生産に励む実践力の旺盛な人
◇たがいに敬愛し、協力して郷土の発展につとめる人
◇自ら考え正しい判断で行動し、国際社会人として信頼させる人

寿都町教育振興基本計画（平成22年度～31年度）

理 念 『風の町寿都で鍛えられた心身ともにたくましく、郷土の発展を担う人材の育成』
『ふるさとに誇りを持ち、豊かな心と敬愛の精神で国際社会を切り拓く人材の育成』

- 基本目標**
- 生きる力（知徳体）の育成
 - 地域に開かれ信頼される学校づくりの推進
 - 地域で子供たちを育む環境づくりの推進
 - 互いに意欲的に学びあう生涯学習の推進
 - 教育環境の整備

学校評価 = **自己評価** { **全教職員** + **保護者アンケート** + **児童アンケート** } + **学校関係者委員**

平成 29 年度 寿都小学校の教育

私たちは「知」「徳」「体」の調和のとれた子供の姿をめざして教育活動を展開し、人づくりに努めていきます。

校訓
 明るく
 正しく
 健やかに

教育目標
 自分を伸ばし、広い心でがんばり通す 寿小の子
 ・よく考え、進んで学ぶ子「知」
 ・明るく思いやりのある子「徳」
 ・強く、たくましい子「体」

中期目標（平成 29 年度、30 年度、31 年度の 3 か年）

- 確かな学力を育てる教育活動の推進《主体的・対話的な学びを通して自己学習力を高める子供の育成》
- 豊かな心を育む教育活動の推進《自己の可能性を信じ、協働的に取り組む子供の育成》
- 健やかな体を育む教育活動の推進《困難に立ち向かい、心身ともに健康な子供の育成》
- 地域に開かれた信頼される学校づくり
 《学校・家庭・地域が「共有」と「連携」を通して子供たちの学びを支える》

学校の現状

学校評価では、「確かな学力」「健やかな体」に関連する項目の得点が高かった。

学校運営協議会からは、子供たちへの礼儀や公德心の指導の一層の充実を期待されている。

短期目標（平成 29 年度重点目標）

- 平成 29 年度 自らすすんで考え、判断し、表現することができる子供の育成
- 平成 30 年度 自らすすんで判断、表現し、行動することができる子供の育成
- 平成 31 年度 自らすすんで表現し、協力して行動することができる子供の育成

次のことを努力・実践します。

確かな学力

- ① 基礎基本の定着と活用力を図る授業実践
- ② 学習意欲の向上と学習習慣の確立
- ③ 特別支援教育の充実

- ・ 学力検査やチャレンジテストを活用し、児童一人一人の課題を踏まえた教育活動を展開します。
- ・ 児童による授業評価で「よくわかる・わかる」を 90% 以上にします。
- ・ 放課後学習を週 3 回実施し、学習の再確認と発展の機会をつくります。
- ・ 全国平均以上の学力を目指します。
- ・ 体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れ学習意欲の向上を図ります。
- ・ 生活リズム調査等の取組により、家庭学習に取り組む児童を 90% 以上にします。
- ・ TT による習熟度学習を 68% 以上行います。
- ・ 全学年による英語教育を実施します。
- ・ 特別支援教育の充実を図ります。

豊かな心

- ① 道徳性の育成
- ② 生徒指導の充実
- ③ 体験的な活動の充実

- ・ アンケートや教育相談により児童理解に努め、いじめ防止の取組を充実させます。
- ・ 道徳の時間を充実し、参観日で道徳の時間を公開します。
- ・ 読み聞かせを含め、10 分間の朝読書を実施します。
- ・ 読書指導により、読書の好きな児童を 85% 以上にします。
- ・ 進んで挨拶する児童を 70% 以上にします。
- ・ 地域の「人・もの・こと」を活かした教育活動を積極的に行い、勤労観・職業観の形成に向けた取組を推進します。

健やかな体

- ① 体力・運動能力の向上
- ② 健康教育の推進
- ③ 安全教育の充実

- ・ 新体力テストを実施し、分析結果を指導に生かします。
- ・ 朝の体力づくり（夏：マラソン、冬：縄跳び）を実施します。
- ・ 早寝、早起き、朝ごはんの励行率 85% 以上、TV などの 3 時間以上の視聴を 40% 以下にします。
- ・ ブラッシング指導や薬物乱用防止教室を開催します。
- ・ 性に関する指導等の充実を図ります。
- ・ 給食時間を活用して食育指導を各学年 3 回以上行います。
- ・ 避難訓練や防犯教室、インターネット・メール教室を実施します。

信頼される学校

- ① 学ぶ組織と指導力の向上
- ② 学校・保護者・地域との連携
- ③ 組織的な学校運営

- ・ コミュニティ・スクールの円滑な運営を行います。
- ・ 学級・教科指導力の向上を目指します。
- ・ 各種たよりやホームページ等により毎月情報を発信します。
- ・ 保・小・中・高の連携による学力向上を目指します。
- ・ 個人情報の取扱いと管理を徹底します。

学校で、家庭で 3 つの^あ

^あいさつ

コミュニケーションが取れる、人とかかわりあっている子

^ありがとう

意欲と謙虚さを備える、前向きな姿勢と修正する心を持つ子

^あとしまつ

自分のことは自分ででき、後片付けができる、自律できる子

平成29年度 学校経営方針

1. 学校経営理念

本校は、明治11年に地域住民の子弟教育に対する熱意により中歌小学校として開校し、今年で139年目を迎える。当時の人たちの新しい時代への夢と希望を託された学び舎は、多くの人たちにより社会に有意な人材を育て、コミュニティとして地域の要となってきた。

平成26年度から、コミュニティ・スクールがスタートし、子供たち、地域の方々の夢を育てる学校として大きな期待が寄せられている。私たちは本校の歴史と伝統を築いてきた職員の一人として、子供たちが生涯に渡り自らの人生を幸せに送ることができる基礎を培うことが本校の重要な役割であることを自覚し、学校を支え育んできた保護者、地域の皆様の期待に応えるために、これまでの実践や評価などを踏まえ、諸法令の下、人づくりに努めていく。

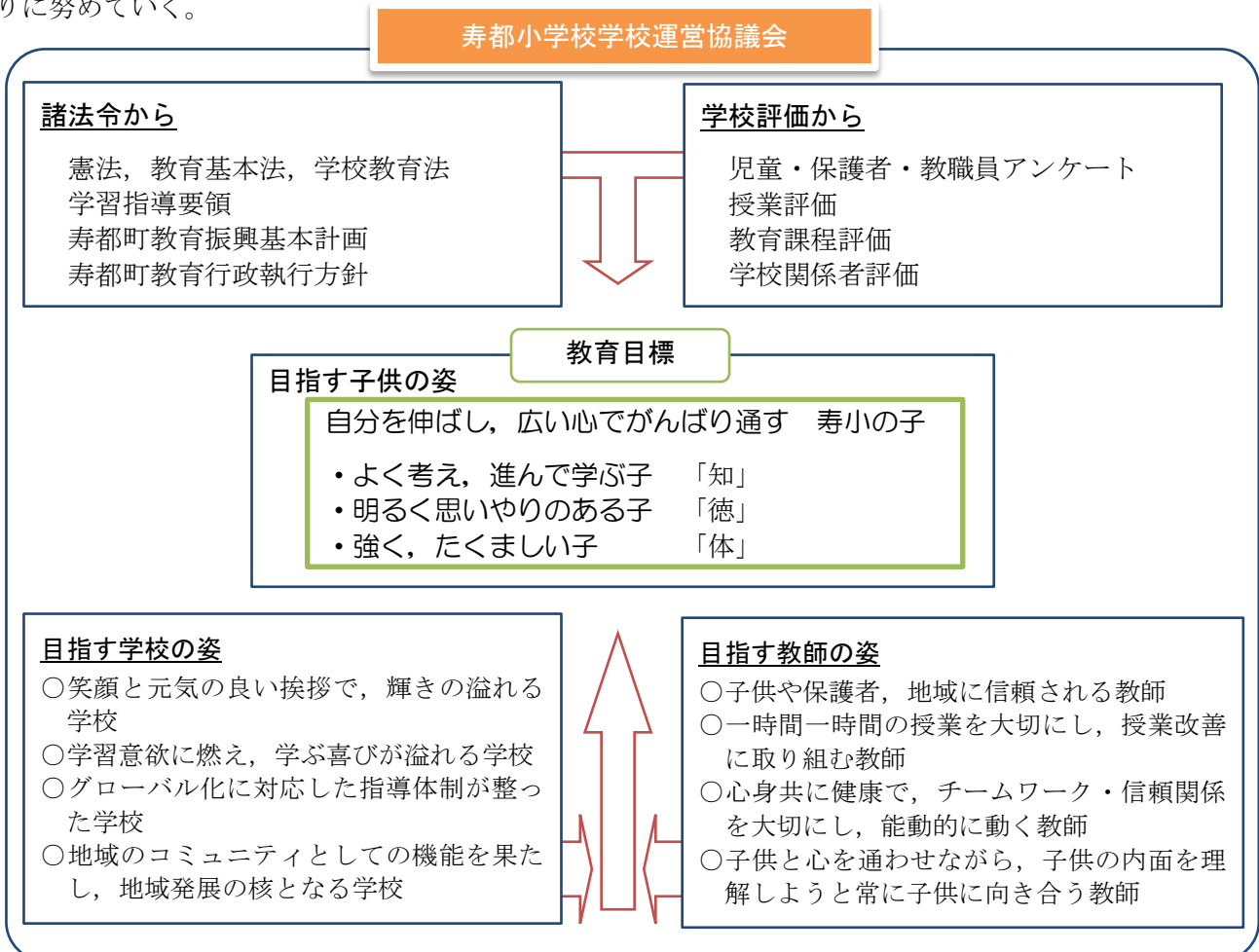
そして、児童・保護者・教職員の誰もが寿都小学校でよかったと思える学校づくりを進める。本校が、児童にとって希望と期待にあふれ「明日が待たれる学校」、教職員にとって児童の成長に喜びを感じ「働くことを誇りに思える学校」、保護者・地域にとって地域のシンボルとして「信頼し、誇れる学校」学校でありたいと考える。

2. 校訓

明るく 正しく 健やかに

3. 学校の教育目標（長期目標）

学校教育目標に示された「知」「徳」「体」の調和のとれた子供の姿をめざし教育活動を展開し、人づくりに努めていく。



4. 各学年の目標

学校教育目標の実現に向けて、教職員が目指す子供の具体的な姿を共有し、発達段階に応じた指導を積み重ねていく。そのために学校教育目標の内容を系統的にし、各学年の目標を以下とする。

	よく考え、進んで学ぶ子	明るく思いやりのある子	強く、たくましい子
要素	<知性・自主性・意欲> ・基礎・基本の定着 ・判断力・表現力・思考力の育成 ・進んで学び、友達と協力して課題を解決しようとする意欲と態度の育成	<社会性・明朗性・道徳性> ・豊かな愛情の育成 ・情操豊かな子供の育成 ・道徳的心情を持つ子供の育成 ・自他の生命と人格を尊重 ・国際化の時代に生きる基礎的・基本的資質の育成	<健康・忍耐・気力> ・健康で基本的な生活習慣の育成 ・勤労を重視し、共同の楽しさを味わう ・強い意志と持久力の育成
低学年	○話をきちんと聞き、元気に話すことができる。 ○学習の準備や後かたづけができる。	○やさしい言葉をつかい、みんなと仲良くすることができる。 ○明るく元気に、挨拶をすることができる。	○進んで体を動かすことができる。 ○途中であきらめずに、やり通すことができる。
中学年	○自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 ○基礎的・基本的な知識や技能を進んで身につけることができる。	○素直で人から信頼され、助け合うことができる。 ○礼儀正しくふるまい、共感的な気持ちをもつことができる。	○きまりを守り、進んで体を動かすことができる。 ○最後まで目標に向かって努力することができる。
高学年	○課題をとらえ、工夫して問題を解決することができる。 ○自分の考えをまとめ、豊かに表現することができる。 ○自他の考えを比べ、良い考えを見つけようとするすることができる。	○自分の思いを大切に、人との関わりを持つことができる。 ○自分と同じように人を大切にすることができる。 ○節度を持って、公平公正に行動することができる。	○健康に気を配り、自ら体を鍛えることができる。 ○自分の役割を自覚し、責任を持ってやりぬくことができる。 ○集団の一員として、協力し合い行動することができる。

5. 中期目標（平成29年度，30年度，31年度の3か年）

学校教育目標を受けた3か年の中期目標を以下とする。

- 確かな学力を育てる教育活動の推進<主体的・対話的な学びを通して自己学習力を高める子供の育成>
- 豊かな心を育む教育活動の推進<自己の可能性を信じ、協働的に取り組む子供の育成>
- 健やかな体を育む教育活動の推進<困難に立ち向かい、心身ともに健康な子供の育成>
- 地域に開かれた信頼される学校づくり
 <学校・家庭・地域が「共有」と「連携」を通して子供たちの学びを支える>

6. 短期目標（平成29年度，30年度，31年度の3か年）

中期目標を受けた3か年の中期目標を以下とする。

- 平成29年度 自らすすんで考え、判断し、表現することができる子供の育成
「自分から考え、きめて、つたえることができる」
- 平成30年度 自らすすんで判断、表現し、行動することができる子供の育成
「自分から考え、きめて、つたえて、やってみることができる」
- 平成31年度 自らすすんで表現し、協力して行動することができる子供の育成
「自分からつたえて、友だちとたすけあつて、よりよくすることができる」

7. 評価計画

平成29年度

寿都町立寿都小学校

平成29年度		学校教育目標		〇「まなび わくわく」よく考え、進んで学ぶ子		〇「こころ はればれ」明るく思いやりのある子		〇「元気 もりもり」強く、たくましい来																											
学校評価		重点目標		『高め合い、可能性を伸ばすことができる子どもの育成』																															
		〇「わかる、できる、たのしい」が実感できる授業。		〇共生力をはぐむ人間関係。		〇自学をはぐむ確かな学びの定着。		〇OPDCA日常的検証と機動的改善。																											
		〇故郷に誇りと愛着を持つ子の育成。		〇家庭・地域との双方向の連携。																															
期		1学期				2学期				3学期																									
月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月											
主な行事		年度始休業	始業式・入学式	各種検査・測定	一年生を迎える	学力学習調査	集団下校訓練	避難訓練	春の遠足	運動会	各種検査	修学旅行	一学期通知表配布	夏季休業	夏休み作品展	交通安全指導	交通安全鑑賞会	芸術鑑賞会	絵画展	学芸会	避難訓練	友愛セーブル	読書週間	公開授業	習字展	集団下校訓練	二学期通知表配布	冬季休業	冬休み作品展	一日入学	スキー学習	六年生を送る会	卒業式	修了式	年度末休業
自己評価	校長	学校経営方針				自己評価				自己評価				自己評価				次年度学校経営方針																	
	教頭	PLAN	DO	CHECK	ACTION	Next DO	Next CHECK	Next ACTION	Next PLAN	<p>・学校教育目標 ・重点目標 ・重点目標具現化 ・各分掌</p>																									
評価	教務部	学校経営方針の具現化のための計画策定				計画に基づいた具現化のための実践				評価結果の分析				年度末評価				次年度計画策定																	
	生徒指導部	各部の重点				交流				改善策の共通理解				改善策の検討				学校経営方針具体化のための具体的計画策定																	
評価	学年・学級	学年・学級経営案策定				学級経営反省				学級経営反省				学級経営反省				教育課程の編成																	
	児童	1年間の目標 1節目の目標 出会いを大切にしよう				1節の反省 2節の目標 仲間と力を合わせよう				3節の目標 認め合い、高めよう				4節の目標 振り返り、新たな目標を持とう																					
評価	教師	◇学びと生活の基礎作り ◇挨拶の徹底 ◇個を認め合う学級集団作り				◇学習習慣の確立 ◇基礎基本を大切に個に応じた指導 ◇集団の中で助け合い、励まし合う活動				◇表現活動の充実を通し自信を深める活動 ◇集団活動を通し認め高め合う集団の育成				◇成長や課題を気持ちを持たせる活動の充実																					
	保護者	行事アンケート				行事アンケート				行事アンケート				学年末説明会・懇談会																					
評価	職員	自己目標設定、面談、実践				中間面談、目標の評価、改善・実践				自己評価、最終面談、目標設定				評価の妥当性について意見をいただく																					
	学校運営協議会	学校運営協議会				学校運営協議会				学校運営協議会				学校運営協議会																					
評価	町	定例会				定例会				定例会				定例会																					
	町	定例会				定例会				定例会				定例会																					

※学校運営協議会は、学校関係者評価委員会を兼ねる。